新型コロナの感染拡大傾向　沖縄県が初の準備情報発表

2025.07.04 沖縄テレビ放送

https://news.yahoo.co.jp/articles/10e396db122213ae6b5ce062ba8204936f0d2a71

新型コロナウイルスの流行が懸念されるとして、沖縄県は4日、新型コロナ感染拡大準備情報を出しました。

県によりますと、6月29日まで一週間に定点医療機関で報告された新型コロナの患者数は前の週の1.91倍で、1医療機関あたり11.22人となっています。

こうしたなか県は4日、新型コロナ感染拡大準備情報を発出しました。

新型コロナはインフルエンザのような注意報や警報といった基準がないことから、県は感染拡大が懸念されると判断した際に注意喚起を呼び掛けるため2024年から準備情報の運用を開始しました。

準備情報は医療機関や高齢者施設に対し感染拡大に備えるよう求めるほか、県民については施設を訪問する際は基本的な感染対策を講じるよう注意を呼び掛けています。

沖縄県が初の「新型コロナ感染拡大準備情報」　患者が増加傾向で　1歳未満の入院例も

7/4(金)沖縄タイムス

沖縄県は4日午前、県内で新型コロナウイルスの患者が増加傾向にあるとして「新型コロナ感染拡大準備情報」を発表した。昨年12月に運用が始まって以来初めて。医療機関や高齢者施設に感染拡大に備えるよう呼びかけたほか、県民にも受診時のマスク着用など感染予防対策を呼びかけた。1歳未満の入院例も出ているとして、感染した乳幼児の呼吸器症状の経過観察も促した。

【新型コロナ】夫の看病で家庭内感染　580gの息子を出産した女性が伝えたいこと

県地域保健課によると、6月23～29日の定点医療機関当たりの患者数は11・22人となり、前週（16～22日）の1・91倍となった。前週の定点当たり患者数は5・87人で、全国（1・00人）の5倍超と突出していた。

23～29日の年齢別報告数は60歳以上が45・5％で、高齢者が多くを占めた。高齢者や基礎疾患がある人は感染で重症化しやすく、入院患者も増加傾向にあるという。

地域別では、南部保健所管内が定点当たり14・5人と突出して高く、次いで中部（14人）、北部（7・8人）の順。　「感染拡大準備情報」を発表する数値基準は明確になく、県が、患者の増え方や、医療機関を高齢者施設の意見を踏まえて判断し発表した。